

第10回  
地域肝炎治療コーディネーター  
教育セミナー



現場からの声

進歩を遂げた肝炎治療を届けるために



大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター主催



## 肝炎治療の最新情報

織部 淳哉

2014年9月からジェノタイプ1b型を対象としてインターフェロン（IFN）を使用しない経口C型肝炎治療薬であるダクラタスビルとアスナプレビルが使用できるようになりました。従来のIFNより副作用が少なくウイルス駆除率も高いため、経口薬がC型肝炎治療の主流となりました。その後ジェノタイプ2型へソフォスブビル、リバビリン併用療法が、ジェノタイプ1a、1b型へレジパスビル、ソフォスブビルの合剤が認可され、より多くのC型肝炎患者への治療が可能となっています。それぞれの薬剤は当院で実際に使用しています。治療途中の薬剤もありますがどの薬剤も効果が高く、ほとんどの症例で開始8週以内にHCVが陰性化していました。現在も有効性、安全性の観察を継続しています。2015年からはパリプレビル、オムビタスビル、リトナビルの合剤が使用できるようになり、その後も新規薬剤の治験が予定されています。抗ウイルス剤の選択肢が増え、今後は各症例の合併症や内服薬、薬剤耐性の有無などに応じて使い分ける必要があります。

## 手遅れ肝がんを防ぐために

本田 浩一

肝がんのステージは①腫瘍の大きさ（2cm 以下か 2cm 超か）、②腫瘍の個数（1 個か 2 個以上か）、③脈管侵襲の有無、④リンパ節転移の有無、⑤遠隔転移の有無の 5 項目より判定されます。項目①～③、つまり、腫瘍の大きさが 2cm 以上かつ個数が 2 個以上かつ脈管侵襲がある場合はステージ 4a で、さらに遠隔転移を伴うとステージ 4b です。ステージ 4a、4b は肝がんが高度に進行した状態であり、ほとんどの場合根治的な治療が困難であり、リザーバー動注（持続肝動注療法）やソラフェニブ（分子標的薬）など抗がん剤による治療が行われます。がん進行のため、肝機能が不良である場合も多く、その場合はがんに対して治療を行うことができません。

肝がんの特徴はがんができやすい人が分かっているということです。肝がんになる人の 3 人に 2 人は肝炎ウイルスに感染しています。肝がんの原因の約半数は C 型肝炎ウイルスが原因であり、約 15% は B 型肝炎ウイルスが原因です。C 型肝炎、B 型肝炎とも健診などで行われる血液検査で容易に診断することができますが、日本ではまだ国民の半数ほどしか肝炎検診を受けていないと推測されています。あるいは、健診を受けたことがあっても、結果について覚えていない人も多く、また、知っていても病院を受診しない人が多いのも問題となっています。B 型肝炎も C 型肝炎も抗ウイルス薬の進歩によりほとんどの人が治る時代になりました。行政、医療機関、肝炎コーディネーターなどが一体となって、根気強く肝炎検査の受検、受診、受療を呼びかけていくことが手遅れ肝がんを防ぐために重要と考えられます。

# 肝臓病 家族支援講座 in 大分

—患者さんとご家族のために—

入場無料

**日時** 平成28年2月28日(日)

14:00~16:00

**場所** ホルトホール大分 3階「大会議室」

大分市金池南一丁目5番1号 TEL 097-576-7555

総合司会 清家 正隆 先生 (大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター)

**講演** (14:05~14:45)

■講演1 「肝炎患者のサポート —家族へのお願い—」 (20分)

NPO法人「共に生きる」代表 江藤 裕子 先生

■講演2 「思い」と「暮らし」 (20分)

大分大学臨床薬理学講座 臨床心理士 関口 愛 先生

**ふれあい交流会** (14:45~16:00)

**サポーター**

首藤 美穂・北川 高臣 (大分県福祉保健部 健康対策課)、白石 清美 (大分市保健所 保健予防課)、

本田 浩一 (大分大学医学部附属病院 消化器内科)、江藤 裕子 (NPO 法人共に生きる)、

大口 市子 (地域肝炎治療コーディネーター)、関口 愛 (臨床心理士)

主催：大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター

後援：大分県 大分市 大分県医師会 大分県薬剤師会 大分県看護協会 大分合同新聞社

※会場の駐車場は数に限りがありますので、ご来場の際は徒歩または電車バス等の公共交通機関をご利用いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地  
国立大学法人大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター

TEL/FAX : 097-586-5504 E-mail : kansikkan@oita-u.ac.jp